

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年10月5日（火）

2 確認箇所

- (1) 3号機原子炉建屋
- (2) 物揚場排水路

3 確認項目

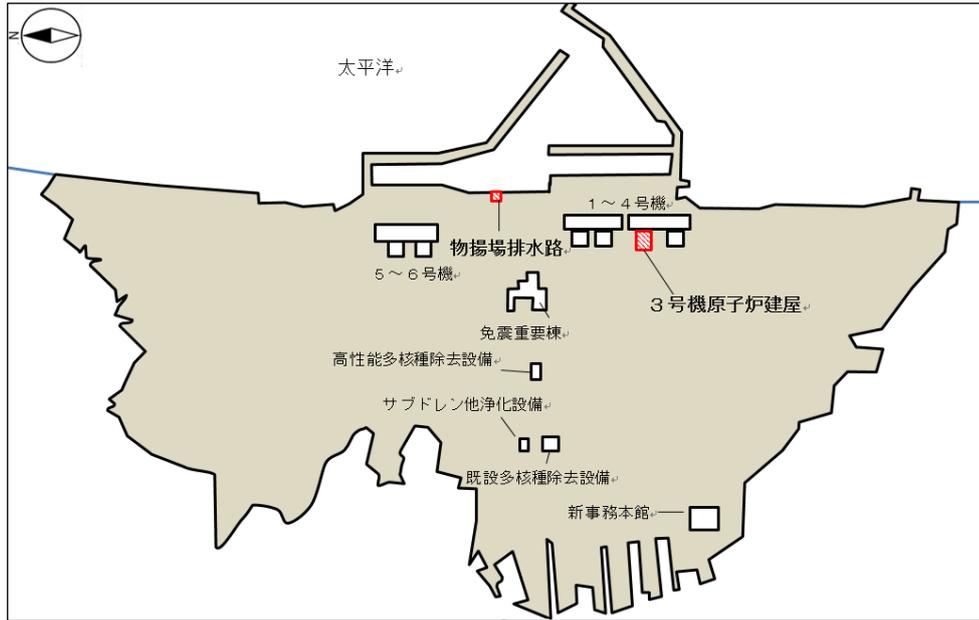
- (1) 3号機原子炉建屋の地震計増設状況
- (2) 物揚場排水路の簡易放射線検知器指示値上昇事象

4 確認結果の概要

(1) 3号機原子炉建屋の地震計増設状況について

東京電力では、3号機原子炉建屋の経年変化の傾向把握等を目的として、1階及び5階オペレーティングフロアにそれぞれ地震計1台を設置して遠隔にて観測を行っている。このうち5階オペレーティングフロアの地震計については、令和3年7月27日に発生した地震データが受信できず、その後の調査で地震計にデータが取得されていないことが確認された。このことから東京電力では地震計の多重化を図るため、それぞれの地震計の近くに新たに地震計を増設したことから状況を確認した。（図1）

- ・1階の地震計については、コンクリート基礎上に新たに1台が増設されていた。（写真1）
- ・東京電力によれば、データが取得できなかった原因の究明を継続するとともに、5階オペレーティングフロアの地震計についても1階と同様に、地震計を増設して8月30日から運用を開始したとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
前回の1階地震計の状況
(令和3年4月7日撮影)



(写真1-2)
今回の状況
(令和3年10月5日撮影)

(2) 物揚場排水路の簡易放射線検知器指示値上昇事象について

本日、午前10時8分に物揚場排水路に設置されている簡易放射線検知器(以下、「PSFモニタ」という。)において、排水路の清掃作業に起因すると推定される一時的な指示値の上昇が発生したことから、状況を確認した。

- ・新事務本館の端末からPSFモニタ及び弁別型PSFモニタの指示値の推移を確認したところ、ガンマ線核種の放射能濃度に一時的な上昇が見られたものの、ベータ線核種の放射能濃度に上昇は見られなかった。
- ・現場確認時(14時頃)、作業は行われていなかったが、付近には排水路清掃用資材が仮置きされていた。また、確認した範囲で排水路の水に濁り等は見られなかった。(写真2)



(写真 2 - 1)
物揚場排水路の状況



(写真 2 - 2)
排水路清掃資材の仮置状況



(写真 2 - 3)
排水路の濁り等の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。